

平成28年度 市町村における
児童虐待防止対策の取組状況

項 目		奈良市	大和高田市	大和郡山市	天理市	橿原市	桜井市	五條市	御所市	生駒市	香芝市	葛城市	宇陀市
＜基本的データ＞													
A	1 児童人口(0～17歳)	52,313	8,527	12,655	11,421	19,579	8,578	3,805	2,944	20,896	15,347	6,810	3,648
	2 妊娠届出数	2,465	437	559	529	961	387	160	125	868	697	305	142
	3 児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	846	67	125	211	247	189	9	54	233	48	35	51
＜母子保健分野の状況＞ *H29.3.31時点													
B	1 母子健康手帳の交付(妊娠届出)時の保健師の面接実施率	70.3%	100.0%	26.1%	100.0%	100.0%	94.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	84.5%
	2 乳児期(3～5ヶ月)健康診査受診率	98.1%	97.0%	97.5%	97.8%	96.9%	94.4%	98.8%	96.6%	92.3%	99.0%	99.0%	100.0%
	3 同未受診児の現認率 *	77.1%	81.8%	92.9%	88.9%	0.0%	94.1%	100.0%	100.0%	10.3%	66.7%	100.0%	－
	4 1歳6ヶ月児健康診査受診率	95.3%	94.8%	93.6%	95.3%	95.5%	92.2%	100.0%	96.9%	97.1%	97.8%	96.4%	98.0%
	5 同未受診児の現認率 *	76.0%	50.0%	89.7%	66.7%	86.4%	100.0%	－	100.0%	38.1%	84.6%	55.6%	66.7%
	6 3歳児健康診査受診率	92.3%	91.1%	90.0%	91.1%	76.5%	87.7%	99.4%	91.9%	80.5%	95.9%	95.7%	92.1%
	7 同未受診児の現認率 *	65.9%	58.8%	96.8%	70.8%	85.3%	100.0%	100.0%	100.0%	30.5%	90.0%	72.2%	83.3%
	8 母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
＜子育て支援事業の状況＞													
C	1 乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 同事業の訪問率 *	99.2%	97.8%	97.8%	81.0%	98.9%	99.3%	100.0%	95.1%	97.8%	95.4%	93.2%	96.7%
	3 養育支援訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 同事業の年間訪問戸数	23	80	23	3	26	15	29	44	26	20	8	11
	5 子育て短期支援事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 一時預かり事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	1616	127	38	66	200	18	4	71	247	14	154	39
	8 未所属児童の現認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 民生・児童委員を活用した子育て支援事業	・個別事例に合わせて情報共有等の連携を実施	・予防接種手帳交付会でアンケートを配布し「訪問してもよい」を回答した家庭への訪問支援と見守り支援実施	・児童虐待防止に向けた啓発活動	・未所属児童について協力依頼し、家庭訪問等により現任確認を実施	－	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・児童虐待事例等への見守り支援 ・つどいの広場への参加	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・母子保健事業への参加。 ・児童虐待事例等への家庭訪問支援、見守り支援	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業 ・児童虐待事例にかかわる情報提供	－	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	－
＜広報啓発の状況＞													
D	1 オレンジリボンキャンペーンの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 啓発の方法等	・里親月間及び児童虐待防止月間に、街頭啓発、市役所内通路啓発、市民だよりによる特集、佐保短期大学子どもフェスタでの啓発を実施	・広報誌に虐待通告を促す記事を掲載。 ・市民向けイベント(9月：子育てフェスティバル、11月：元氣ウィーク)で啓発物品(ポケットティッシュ)を配布。	・市の広報誌に啓発記事を掲載。 ・児童虐待防止推進月間中のイベントにおいて、パレードへの参加、ブースの出展。 ・図書館において児童虐待防止関連図書を展示。	・市の広報に児童虐待防止の啓発記事を掲載。 ・市内の家庭に児童虐待防止に関するビラを配布。	・市民向けイベント(「ふれあいいきいきまつり」で啓発物品を配布。 ・地域での出前講座実施。 ・児童虐待防止月間の電光掲示板等への掲載、関係機関へのオレンジリボンの配布。	・広報誌に児童虐待防止の記事掲載(3回/年)。 ・市民向けイベント(「市ウォーキングフェスティバル」、「陽だまりフェスタ」)での啓発。 ・平成22年に桜井市内で発生した虐待死亡事件日に街頭啓発を実施。	・広報「五條」へ児童虐待の特集を掲載。 ・市民向けイベント時に、啓発物品を配布(パンフレット、オレンジリボン等)。 ・人権研修会等において啓発物品の配布、ポスターの掲示。	・年度当初及び10月～11月の期間、市内の保育施設や学校を対象に児童虐待防止啓発グッズを配布。 ・11月1日 県内一斉キャンペーンで児童虐待防止のための啓発物品を配布(市役所西玄関・近鉄御所駅) ・市民向けイベント(「ふるさと”ごせ”食と農のフェスタ」)にて啓発実施。	・広報誌に児童虐待の通告を促す記事を掲載。 ・啓発グッズの配布。	・11月の広報誌に児童虐待防止の啓発内容を掲載。 ・啓発グッズの配布。	・全市職員にオレンジリボン啓発物品を配布。 ・市民向けイベント(「ゆめフェスタかつらぎ」で街頭啓発、啓発物品の配布。 ・11月の広報誌に「児童虐待防止推進月間」を掲載。	・広報誌に児童虐待防止の啓発記事を掲載。 ・市民向けイベントでチラシ及び啓発物品を配布。 ・市内の全小中学校、幼稚園、保育所、こども園を通じ全児童にチラシ配布。 ・駅前及びショッピングセンターで街頭啓発。
＜児童虐待への対応状況＞													
E	1 要対協個別ケース検討会議開催回数	322	29	43	16	20	41	10	11	291	12	9	4
	2 家庭児童相談員の配置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 児童虐待関連業務への実質対応職員数	6.6	4.2	1.7	2.7	5.7	4.9	1.3	3.2	7.7	1.2	1.0	1.7
	4 実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)／実質対応職員数(E3))	128.2	16.0	73.5	78.1	43.3	38.6	6.9	16.9	30.3	40.0	35.0	30.0
	5 児童虐待対応のための体制拡充												
	①職員の増員					○							
	②広報啓発の実施	○											
	③研修会の開催	○					○						
	④備品購入・改修等の環境整備						○						
	⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築												
	⑥その他の体制強化						児童虐待対応を係体制から新設課を設置し、母子保健部局、子育て支援部局と同一施設に移転						

平成28年度 市町村における
児童虐待防止対策の取組状況

項 目		山添村	平群町	三郷町	斑鳩町	安堵町	川西町	三宅町	田原本町	曽爾村	御杖村	高取町	明日香村	
＜基本的データ＞														
A	1	児童人口(0～17歳)	360	2,482	3,631	4,560	873	1,248	877	4,894	125	98	888	678
	2	妊娠届出数	18	103	192	198	46	47	37	226	4	3	20	27
	3	児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	1	15	10	26	20	17	14	47	0	0	4	3
＜母子保健分野の状況＞ *H29.3.31時点														
B	1	母子健康手帳の交付(妊娠届出)時の保健師の面接実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	78.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	2	乳児期(3～5ヶ月)健康診査受診率	100.0%	100.0%	97.2%	99.2%	97.8%	98.3%	95.5%	98.3%	100.0%	50.0%	95.7%	96.7%
	3	同未受診児の現認率 *	－	－	60.0%	－	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－	0.0%	100.0%	100.0%
	4	1歳6ヶ月児健康診査受診率	100.0%	97.3%	91.6%	96.5%	100.0%	98.4%	91.7%	95.3%	100.0%	100.0%	97.6%	93.1%
	5	同未受診児の現認率 *	－	50.0%	68.8%	75.0%	－	100.0%	100.0%	90.0%	－	－	100.0%	100.0%
	6	3歳児健康診査受診率	100.0%	93.9%	93.3%	95.5%	100.0%	100.0%	89.1%	88.9%	88.9%	－	92.0%	85.4%
	7	同未受診児の現認率 *	－	80.0%	69.2%	90.9%	－	－	100.0%	88.5%	0.0%	－	75.0%	66.7%
	8	母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
＜子育て支援事業の状況＞														
C	1	乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	同事業の訪問率 *	100.0%	100.0%	94.2%	95.6%	100.0%	100.0%	100.0%	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3	養育支援訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
	4	同事業の年間訪問戸数	0	40	19	4	37	1	0	19	0	4	－	2
	5	子育て短期支援事業の実施	－	○	○	○	－	○	○	○	－	○	○	○
	6	一時預かり事業の実施	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
	7	児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	53	43	0	0	0	0	0	32	1	2	3	0
	8	未所属児童の現認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	民生・児童委員を活用した子育て支援事業	・児童虐待防止に向けた啓発活動	・乳児家庭全戸訪問事業	－	－	・妊婦健診、乳児健診、子育て教室にて民生児童委員の紹介 ・民生児童委員による育児相談を実施	－	・地域の子育て家庭が民生児童委員についての理解を深めるため、親子教室への参加協力を実施	－	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業
＜広報啓発の状況＞														
D	1	オレンジリボンキャンペーンの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	啓発の方法等	・職員にオレンジリボン配布し啓発を実施。	・県内一斉のオレンジリボンキャンペーンにて、西和警察署と連携し、町内の私鉄4駅にて啓発物品を配布。	・町民向けイベント(人権フェスタ)にて児童虐待防止に関するパネル展示及びオレンジリボンの配布。	・広報誌11月号に啓発記事を掲載。 ・町民向け講座を開催。	・広報誌およびホームページに掲載。 ・町民向けイベントでオレンジリボン等の啓発物品配布。 ・オレンジリボンモニュメントの作成。	・11月の広報誌に児童虐待の通告を促す啓発記事を掲載。	・町文化祭にてオレンジキャンペーン啓発物品の配付。 ・広報誌への掲載、町ホームページ、公式Facebookへの情報掲載。	・5月の児童福祉週間に虐待について広報誌の掲載。 ・11月の広報誌に虐待防止に関する記事を掲載。 ・11月に田原本駅前でオレンジリボンキャンペーンのための啓発物品の配布。	・全戸配布の保健事業予定表に「共通ダイヤル189」を掲載。	・職員に児童虐待防止啓発物品を配布(オレンジリボン等)。	・広報誌に啓発記事を掲載(2回/年)。	・広報誌、ホームページ等に啓発記事を掲載。 ・市民向けイベントでの子育て世帯へ啓発。 ・放課後クラブにおいてオレンジリボンの作成を実施し子どもから保護者へ配布。 ・職員へのリボン着用呼び掛け、健康福祉センター来館者へ啓発物品を配布。
＜児童虐待への対応状況＞														
E	1	要対協個別ケース検討会議開催回数	1	7	13	13	42	0	7	7	2	3	3	5
	2	家庭児童相談員の配置	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	3	児童虐待関連業務への実質対応職員数	0.2	0.4	1.1	0.5	0.6	0.8	0.7	0.4	0.1	0.1	0.3	0.7
	4	実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)／実質対応職員数(E3))	5.0	37.5	9.1	52.0	33.3	21.3	20.0	117.5	0.0	0.0	13.3	4.3
	5	児童虐待対応のための体制拡充												
		①職員の増員												○
		②広報啓発の実施												○
		③研修会の開催												
		④備品購入・改修等の環境整備												
		⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築												
	⑥その他の体制強化					子育て広場「あかり」を設置								

平成28年度 市町村における 児童虐待防止対策の取組状況

[illegible]

平成２８年度　市町村における
児童虐待防止対策の取組状況

項 目		上北山村	川上村	東吉野村	
＜基本的データ＞					
A	1	児童人口（0～17歳）	23	70	108
	2	妊娠届出数	0	5	5
	3	児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	0	0	0
＜母子保健分野の状況＞ *H29.3.31時点					
B	1	母子健康手帳の交付（妊娠届出）時の保健師の面接実施率	－	100.0%	100.0%
	2	乳児期（3～5ヶ月）健康診査受診率	－	100.0%	100.0%
	3	同未受診児の現認率＊	－	－	－
	4	1歳6ヶ月児健康診査受診率	－	100.0%	100.0%
	5	同未受診児の現認率＊	－	－	－
	6	3歳児健康診査受診率	100.0%	100.0%	85.7%
	7	同未受診児の現認率＊	－	－	0.0%
	8	母子保健領域のネットワーク（産科医療機関等と市町村の連絡体制）参画	○	×	×
＜子育て支援事業の状況＞					
C	1	乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○
	2	同事業の訪問率＊	－	100.0%	100.0%
	3	養育支援訪問事業の実施	○	－	○
	4	同事業の年間訪問戸数	0	0	2
	5	子育て短期支援事業の実施	－	－	－
	6	一時預かり事業の実施	－	－	－
	7	児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	0	0	7
	8	未所属児童の現認	○	○	○
	9	民生・児童委員を活用した子育て支援事業	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸法訪問事業 ・乳幼児健診及び子育てサロンへの参加
＜広報啓発の状況＞					
D	1	オレンジリボンキャンペーンの実施	○	○	○
	2	啓発の方法等	・住民向けイベントで啓発物品配布	・児童虐待防止の啓発物品を配布。	・村の広報誌に虐待相談窓口相談窓口や相談方法に関する啓発記事を掲載。 ・村民向けイベントで、来場者にリーフレットと啓発物品を配布。 ・役場及び学校等へ啓発ポスターを掲示。
＜児童虐待への対応状況＞					
E	1	要対協個別ケース検討会議開催回数	0	0	0
	2	家庭児童相談員の配置	－	－	－
	3	児童虐待関連業務への実質対応職員数	0.1	1.9	0.4
	4	実質職員1人当たりの虐待対応件数（市町村児童虐待相談件数（A3）／実質対応職員数（E3））	0.0	0.0	0.0
	5	児童虐待対応のための体制拡充			
		①職員の増員			
		②広報啓発の実施			
		③研修会の開催			
		④備品購入・改修等の環境整備			
		⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築			
		⑥その他の体制強化			